

工事説明書



ファンコイルユニット
SL・SLR・ST・STR 型
ファンコンベクタ
LW 型

SINKO







1. 安全にご施工いただくために

据付前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、ユニットの本体に下記の記号が印刷されたラベル類が貼り付けてある場合、その箇所は特に注意してください。表示と記号の意味は次のようになっています。

● 危険の度合いを表す記号の区分

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。但し、この場合でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

● 危険の内容を表す記号の区分

	 記号は、警告・注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は回転体注意)が描かれています。
	 記号は、禁止の行為である事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	 記号は、行為を強制したり、指示したり内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい)が描かれています。

2. 本体の取付・据付に関する注意事項

警告

据付工事は専門業者に依頼する。

機器の据付は専門業者が実施してください。
また、本工事説明書に従って確実に施工してください。
据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。



強度の不十分な箇所への据付け禁止。

機器の据付は、重量に十分に耐える所に確実に固定してください。固定が不十分の場合は、本体の落下・転倒によりケガの原因になります。



電気工事は関連法規を守って正しく施工する。

電気工事は電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する基準」「内線規程」および本工事説明書に従って施工し、電源接続は必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電・火災の原因になります。



水質基準に適合した冷水・温水を使用する。

「(社)日本冷凍空調工業会ガイドライン：JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」の「冷水」及び「温水」に準じた水質の水を使用してください。水質が適切でない場合、コイル主管等に腐食が生じ水漏れの原因になることがあります。



注意

納入仕様書を併せてご確認願います。

本工事説明書は標準仕様品について記載しております。
また、納入仕様書には納入した製品の構成等が盛り込まれています。
本工事説明書と納入仕様書を併せてご確認いただき、安全で適切な施工をお願いします。



定格電圧以外での使用禁止。

本体の銘板に表示されている以外の電圧にて使用されますと、故障・火災・感電の原因になります。



場所に応じて漏電ブレーカを取り付ける。

漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の恐れがあります。



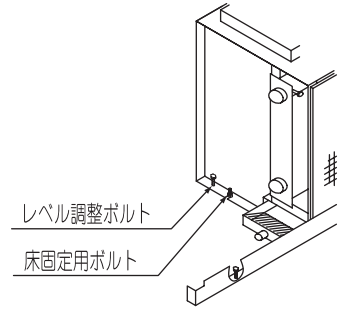
アース工事を適切に施工する。

アース線は適切に施工願います。
また、アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
漏電の際、感電や火災の恐れがあります。



3. 据付工事

- レベル調整ボルトで本体を水平に調整し、床固定ボルト（現地にて調達）で床面に確実に固定してください。
固定強度が不十分な場合は、振動・騒音の原因になります。
- ファンコイル周囲は保守・点検の為のスペースを確保してください。
- 埋込型（SLR・STR型）の場合は、本体の両側に必ず点検口を設けてください。
- 機械油・食油・塩分・湿気・粉塵の多い所、温泉地帯・硫化ガス・発揮性ガス等が充満している所、電圧変動の多い所に設置しないでください。



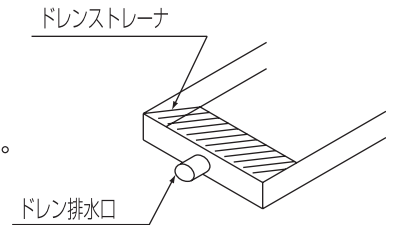
4. 配管工事

<冷温水配管工事>

- 水出入口を間違わないように配管してください。
- 水出入口には必ずバルブを取り付けてください。
- 本体及び装置全体の水が抜ける位置に排水弁を設けてください。
- 管またはバルブ等を熱交換器に接続するときは、熱交換器に無理な力が掛からないようにしてください。
- 管の切り口は「カエリ」を取り除き、ネジ部や管内をよく清掃してください。
- 配管の一部が本体に接触しないよう、また、保温・保冷を確実に施工してください。
- 水質が適切でない場合、コイル主管等が腐食し、漏水する恐れがあります。
「JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じた水質を使用してください。

<ドレン配管工事>・・・LW型は除く

- ドレンパンの排水口へ配管を接続するときは、ドレンパンに無理な力が掛からないようにしてください。
- ドレンストレーナはドレンパン内部のドレン排水口の上部に嵌め込んでください。
- ドレン配管は結露防止の為、保温を必ず施工してください。
- ドレン配管は、排水勾配を十分にとり、逆勾配にならないように施工してください。
(排水勾配1/100以上)
- 配管後に、排水が確実にこなわれていることを必ず確認してください。



5. 凍結の防止

- 水張り試験時等、冬期に熱交換器内の水が凍結する恐れがある場合には、循環ポンプを連続運転し水を循環するか、水張り試験時のみ不凍液を使用する等の処理を行ってください。凍結すると、熱交換器が破損し、水漏れをおこします。

6. 電気配線工事

- 結線の際は、納入仕様書の電気結線図を必ずご確認ください。
- 内部配線は工場ですべて完了していますので電源とアース線を確実に接続してください。
- 1つの運転スイッチで複数のユニットを連動運転する場合は、リレーユニットを必要とする場合があります。
(機種によっては、ユニットに親機・子機の区別があるので注意してください。)
異機種または異サイズ連動を行う際はリレーユニットが必要です。また、既設ユニットとの連動を行う場合は、双方のモータが同一仕様であるか必ず確認してください。
- アースは「内線規程」に基づいて施工してください。アースが不適切な場合は、感電の原因になります。
- 誤結線に十分注意してください。誤結線で運転しますとモータが破損・焼損します。

7. 試運転方法

- パネル類・エアフィルタ等が取り付けられているか確認してください。
- 電気配線に誤結線がないか確認してください。
- 定格の電源電圧が供給されているか確認してください。
- 運転スイッチによりファンの運転を行ってください。
- 熱交換器の出入口のバルブを開いてください。(通水の確認)
- エア抜き弁により熱交換器内のエア抜きを行ってください。この際に、エア抜きホースがドレンパンの内にあることを確認してください。水漏れ等の原因になります。(LW型は除く)

8. 結露防止

- JISの結露条件にて結露水が滴下しないことを確認しております。下記の条件より厳しい条件で使用しますと結露水が滴下することがあります。

項目	試験条件
冷水入口温度	5℃
吸込空気条件	DB27℃ WB24℃ RH78%
運 転	低速運転で4時間連続運転

- ファンを停止したまま連続通水を行うと結露が起こりやすくなります。ファン停止時は必ず通水を停止してください。

9. 配管勝手の変更

- 配管勝手の変更はできません。

10. 付属品

- ドレンストレーナ（LW型は除く）

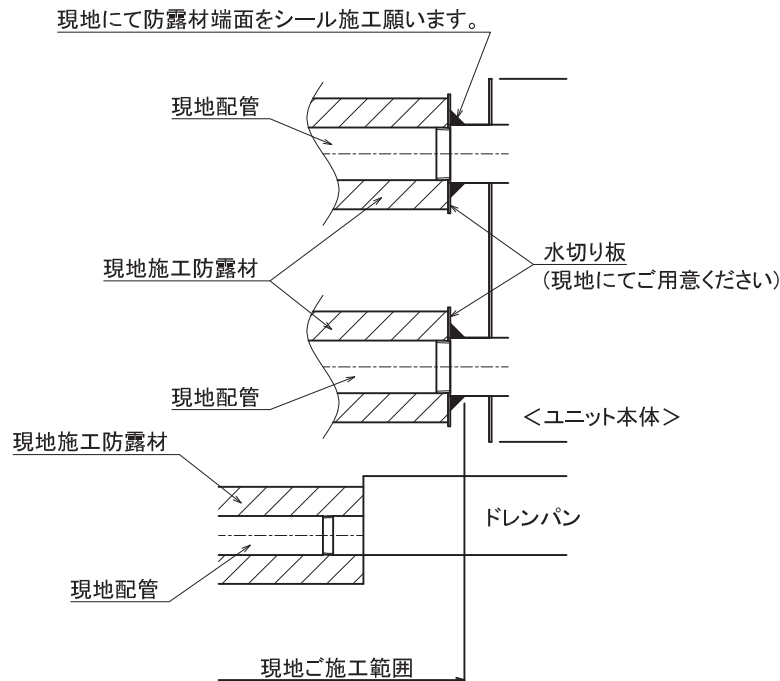
11. その他

ユニットを梱包から取り出し、保管、仮置きする時にはドレンパン、フィルタレール等の本体突起物に無理な力を掛けないようにしてください。

● 配管防露施工要領（参考）

水漏れ防止の為、下記に注意して施工を行ってください。

- 防露材の端面は、配管の結露水が吸収しないように水切り板等で確実に処理してください。
- 水切り板はドレンパン内に納まるように施工してください。
- 防露材と水切り板の隙間、及び配管と水切り板の隙間は確実にコーキング処理してください。
- バルブ等が付く場合は、必ずバルブ本体の防露施工も行ってください。



保守・点検・修理のご用命は

新晃アトモス株式会社

東京本部：東京都江東区新大橋1丁目11番4号 〒135-0007 ☎(03)5638-3800
 大宮営業所：埼玉県さいたま市大宮区仲町2丁目75番 〒330-0845 ☎(048)658-5121
 世田谷営業所：東京都世田谷区新町2丁目27番4号 〒154-0014 ☎(03)5450-6401
 大阪支社：大阪府寝屋川市宇谷町11番13号 〒572-0856 ☎(072)811-3160

九州営業所：福岡市博多区冷泉町5番35号 〒812-0039 ☎(092)291-4332
 名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号 〒450-0003 ☎(052)589-1601
 東北支店：宮城県仙台市青葉区柏木1丁目2番45号 〒981-0933 ☎(022)718-2770
 沖縄営業所：沖縄県那覇市若狭2丁目3番21号 〒900-0031 ☎(098)868-5561

<http://www.sinko.co.jp/ska/>

北海道地区のご用命につきましては、新晃工業株式会社札幌営業所にご連絡をお願いいたします。

◎新晃工業株式会社

本社：大阪市北区南森町1丁目4番5号 〒530-0054 ☎(06)6367-1811
 東京支社：東京都中央区日本橋浜町2丁目57番7号 〒103-0007 ☎(03)5640-4155
 大阪支社：大阪市北区南森町1丁目4番5号 〒530-0054 ☎(06)6367-1801
 名古屋支社：名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号 〒450-0003 ☎(052)581-8661

札幌営業所：札幌市中央区北2条西4丁目1番地 〒060-0002 ☎(011)231-2947
 東北営業所：仙台市青葉区中央1丁目6番35号 〒980-0021 ☎(022)262-7455
 九州営業所：福岡市博多区冷泉町5番35号 〒812-0039 ☎(092)291-8545
 SINKOテクニカルセンター：秦野市菩提160番の1 〒259-1302 ☎(0463)75-1977

<http://www.sinko.co.jp/>